

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【公表番号】特表2007-511988(P2007-511988A)

【公表日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2007-017

【出願番号】特願2006-541634(P2006-541634)

【国際特許分類】

H 04 L 12/437 (2006.01)

【F I】

H 04 L 12/437 S

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月25日(2007.10.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ノードを第1のチャネル(106)へ通信可能に結合するためのインターフェース(130)を含むノード(102)であって、

前記第1のチャネルが、前記ノードを、第1の方向における第1の隣のノード(102)および第1の隣の隣のノード(102)へ通信可能に結合し、

前記ノードが、非同期化モードで動作している場合に、

前記ノードが、前記第1の隣のノードから発生してその第1の隣のノードから受信したデータを、前記第1のチャネルに沿って、中継期間中に中継し、

前記第1の隣のノードから発生してその第1の隣のノードから受信した前記データを中継した後、ロック期間中は、前記ノードが、前記第1の隣から受信するデータをロックし、その一方で前記ノードが、前記第1の隣の隣のノードから受信するデータを、前記第1のチャネルに沿って中継するノード。

【請求項2】

前記チャネルが、前記ノードを第2の方向における第2の隣のノード(102)へ、および第2の隣の隣のノード(102)へ通信可能に結合し、

前記ノードを第2のチャネルへ通信可能に結合するためのインターフェース(1130)をさらに含み、前記第2のチャネルが、前記ノードを、前記第2の方向における前記第2の隣のノードおよび前記第2の隣の隣へ、ならびに前記第1の方向における前記第1の隣のノードおよび前記第1の隣の隣へ通信可能に結合し、

前記ノードが、前記非同期化モードで動作している場合に、

前記ノードが、前記第2の隣のノードから発生してその第2の隣のノードから受信したデータを、前記第2のチャネルに沿って、前記中継期間中に中継し、

前記第2の隣のノードから発生してその第2の隣のノードから受信した前記データを中継した後、ロック期間中は、前記ノードが、前記第2の隣から受信するデータをロックし、その一方で前記ノードが、前記第2の隣の隣のノードから受信するデータを、前記第2のチャネルに沿って中継し、

前記ノードが、前記非同期化モードで動作している場合に、前記第1の隣のノードから発生したものではない前記第1の隣のノードから受信したデータを、前記第1のチャネルに沿って中継し、

前記ノードが、前記第1の隣のノードから受信したデータが前記第1の隣のノードから発生したものかどうかを判断するために、前記第1の隣のノードから受信した前記データを、前記第1の隣のノードから受信したデータと比較し、前記第1の隣のノードから受信した前記データが前記第1の隣のノードから受信した前記データと同一ではない場合に、前記第1の隣のノードから受信した前記データは前記第1の隣のノードから発生したものであり、

前記ノードが、目覚めたとき、最初のロック期間中はいかなるデータも中継せず、

前記チャネルがリング（106）を含む請求項1に記載のノード。

#### 【請求項3】

ノード（102）を第1の方向における第1の隣のノード（102）および第1の隣の隣のノード（102）へ通信可能に結合する第1のチャネル（106）へ通信可能に結合されている前記ノードによってデータを通信する方法であって、

前記ノードが、非同期化モードで動作する場合に、

前記第1の隣のノードから発生してその第1の隣のノードから受信したデータを、前記第1のチャネルに沿って、中継期間中に中継するステップと、

前記第1の隣のノードから発生して前記第1の隣のノードから受信した前記データを中継した後、ロック期間中は、前記第1の隣から受信するデータをロックし、その一方で、前記第1の隣の隣のノードから受信するデータを、前記第1のチャネルに沿って中継するステップとを含む方法。

#### 【請求項4】

第1のチャネル（106）を介して相互に通信可能に結合されている複数のノード（102）を含むネットワーク（100）であって、

前記チャネルが、それぞれのノードを、第1の方向における第1の隣のノード（102）および第1の隣の隣のノード（102）へ通信可能に結合し、

それぞれのノードが、非同期化モードで動作している場合に、

そのノードの前記第1の隣のノードから発生してその第1の隣のノードから受信したデータを、前記第1のチャネルに沿って、中継期間中に中継し、

その第1の隣のノードから発生してその第1の隣のノードから受信した前記データを中継した後、ロック期間中は、その第1の隣から受信するデータをロックし、その一方でそのノードが、そのノードの前記第1の隣の隣のノードから受信するデータを、前記第1のチャネルに沿って中継するネットワーク。